



ふれあい スポーツ

発行
滋賀県障害者スポーツ協会
〒520 大津市御陵町4-1
滋賀県立スポーツ会館内
☎ 0775-22-6000
FAX 0775-21-8118



滋賀県選手・役員団の力強い入場行進(開会式)

げんきかがやけ! 第32回 全国身体障害者スポーツ大会 おりづるの大会ひろしま

10月26日・27日
広島県・広島市

10月26日・27日、「げんきかがやけ」をスローガンに、第32回全国身体障害者スポーツ大会(おりづるの大会ひろしま)が広島広域公園陸上競技場を中心に開催されました。

大会前日の夕刻から雨が降りはじめ、天候が心配されました

昭和60年度の「わかとり大会」(鳥取)以来11年ぶりに中国地方での開催となった今大会ですが、「温暖な瀬戸内地方」との予想に反し、日陰ではウインドブレーカーを着込んでまだまだ寒い程で、選手たちは低温による体の硬直に神経を使い、頭を悩ませる結果となりました。

しかし、悪条件にも関わらず、選手達は日頃の練習の成果を充分に発揮し、個人競技出場選手については、金8銀9銅7の計24個と全員がメダルを獲得。記録的にも大会新記録1を含み自己新記録が8個あり、満足のいく結果となりました。また、昨年を引き続いでの出場となったグランドソフトボールについては、初戦で惜しくも今年度優勝チームの宿敵愛媛県に3対6で惜敗し、入賞はなりませんでした。

そして、競技終了後の後夜祭においては、全国から集まった選手たちとの交歓があり、名物広島風「お好み焼き」に舌つづみを打ちながら他府県選手と大会談義に花が咲くなど、それぞれが感動の余韻を満喫し、晩秋の気配色濃い広島之夜は、更けてゆきました。

こうして、第32回全国身体障害者スポーツ大会は、参加した全員に大きな感銘を与え、幕を

スポーツと私



八日市市 谷田 惣七

私は3才の時にポリオにかかり、小学校、中学校の体育の授業はいつも一人で見学をしておりましたので、スポーツには縁のない学校生活を送りました。昭和55年頃から織維関係の業界が段々不況になり、私の仕事も少なくなり、生活が苦しくなってきたため職し、会社に勤めるようになりました。

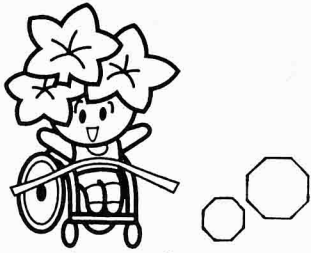
自営であったそれまでより、自分の時間を持つようになつたその頃、八日市市の身体障害者の運動会に参加してみたいかというお誘いを頂きました。私よりもずっと重度の方が我を忘れて汗を流し、一生懸命競技している姿を見て、「私もやれば出来る」という勇気を与えてもらいました。そしてそれがきっかけの一つとなり、「スポーツは参加して共に楽しむものだ。」と身をもって思うようになりま

降ろしました。
なお来年、第33回全国身体障害者スポーツ大会(ふれ愛ビッグ大阪は、「ときめいて今はば

した。
平成2年5月、陸上競技大会の後で、全国身スポ大会の出場選手に選ばれました。6月から強化練習及び合宿が始まりましたが、真夏の炎天下での練習は大変厳しく、ヘトヘトになる事もありました。しかし、「一生に一度しか出場出来ないのだからもう少し頑張ろう。」と自分で自分に言いかせ頑張りました。そして「とびうめ大会」では、感動と感激を一杯味わう事が出来ました。

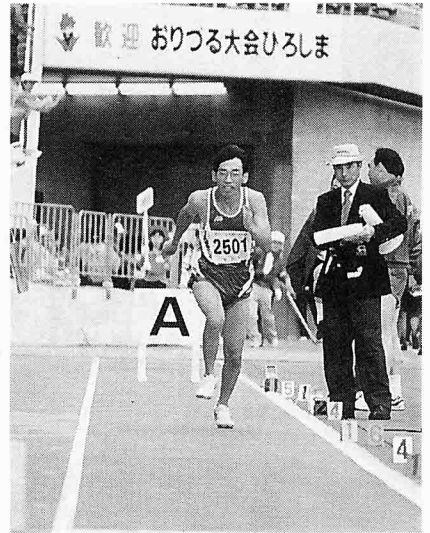
私の出場種目はソフトボール投と立幅跳の2種目です。強化練習ではソフトボール投で25m、立幅跳で1m47が最高でしたが、肩を傷めておりましたので記録が伸びず心配しました。しかし「これが最後。」と度胸を決めて頑張りました。お蔭様でソフトボール投が27mで銅メダル、立幅跳が1m58で見事金メダルを頂き本当に嬉しく夢のようでした。その時の感動は一生忘れられない私の宝物です。

また、このことはご指導・応援をして下さった多くの方々のお蔭だと感謝しております。全国大会に出場後、指導員の資格を取り、微力ながら協力させて頂いておりますが、これからも宜しくお願いします。
たいて未来」をスローガンに、平成9年11月2日・3日、大阪府大阪市、長居公園陸上競技場を中心に開催されます。



大会マスコット「咲ちゃん」

思い出 かがやけ！ おりづる大会ひろしま ◀ 参加選手感想文 ▶



走幅跳競技での澤村選手

何よりの喜び

新旭町 澤村 博史

「おりづる大会ひろしま」での最初の日の競技は走幅跳でした。生憎、朝から天候が良くなく体が冷えてかたくなり、サブグラウンドでトラックを数回走り、走幅跳の練習を行い、体をほぐし本番に備えていました。3回助走の練習をし、いざ本番となりました。

結果は必ずある！

彦根市 西川 忠男

僕は今まで何もかも中途半端で終わってきました。

しかし6月の合宿以降、雨が降った時でも、7・8月の気温が30度以上ある時でも、コーチの方から頂いたマニュアル通り50mダッシュ10回、スクワット100回を毎日続けていました。途中で止めたいと思う気持ちがあったのも事実ですが、「また、中途半端で終わった」と人から言

われる悔しさと、そして何よりも「メダルを取りたい」という思いが僕を最後まで続けさせたのだと思います。その結果、体重を12kg減量することが出来、100m競走は銅、走幅跳では銀メダルを頂くことが出来ました。

また、個人競技選手の全員がメダルを取れた事も自分にとって嬉しい事の一つです。最後までやり通せば、その結果は必ずついてくると言うことをこの大会で知ったような気がしました。

大会2日目は100m競走です。皆で早朝トレーニングをしてから競技場に向かい、サブグラウンドでウォーミングアップの後、トラックを2・3周走り、招集時間も招集場で体をほぐし順番を待ちました。アナウンスで自分の名前が呼ばれ第2コースのスタート位置につき、競技役員の注意を聞き直しました。

ピストルの音で走り出しましたが、他の人の方が自分より速く、結局17秒73の記録で3位となりました。

皆に心配をかけ、そして励まして頂きましたが、広島大会に出場できた事は自分にとって何よりの喜びだと思えます。

サブに戻ると、団長やコーチが迎えて下さり、団長が「よく頑張った。」と褒めて下さいました。

表彰台上でガッツポーズをする西川選手



後夜祭でコンパニオンさんと盛り上がる鈴木選手

震えが止まらない！

大津市 鈴木 昭夫

今度こそ、今年こそと心に誓いつつ、選考会に落選し四年目か五年目のチャレンジで感激も一入……

一生に一度しか出場できない晴れの舞台の夢を脳裏に描きつつ、練習も熱が入り頑張った日々が続いた。その記録も少々ではあるが伸び、コーチが口癖の様に「頑張れば出来る。」と言

われた通りであった。

そのうちに足の裏に魚の目、腕には痛みを覚え、伸び悩んで五ヶ月間の強化練習ではコーチの皆様に迷惑を掛け、落第生の様な思いがした。

その苦労が、悩みが、全てが吹き跳ぶ瞬間が当日ビッグアーチでの入場行進。満場の観衆が小旗を振り、拍手、拍手で迎えて貰うあの感激は、後にも先にも味わった事がなく、心の奥底から震えがして止める事が出来なかった。

その感激も冷めやらぬ内に、激戦区の中で銀・銅を勝ち戦ったメダルは、練習に、コーチに、激励して下さった仲間、暖かく声援して頂いた賜物と感謝し、自分の宝物として、経験を基に二度と味わえないこの大会の素晴らしさを今後挑戦される皆様に伝えたいと感じる次第です。本当に有難うございました。広島県ボランティアの方々に合掌。

思わずバンザイ!

水口町 瀧井 聡子

「本当にこの日がやって来たんだな。開会式が始まり、我が滋賀県選手団がスタンドを一周した時に初めてドキドキしました。それぞれの競技が始まる前に皆で「頑張れ、頑張れ、滋賀!」と声をかけ、励まし合った後、「これまでの練習の成果を出し切り頑張ろう。」という気持ちになり、選手団全員の団結力が強まった感じがしました。

砲丸投では記録があまり奮わず、悔しい気持ちで込上げてきました。ハンドボール投で自己新記録を出し、金メダルが確定したと判った時、思わずバンザイをしてしまいました。それに加え、選手団の皆が次々とメダルを獲得したので大変嬉しく思いました。



祝勝会での一コマ(瀧井選手)

やる気があれば出来る!

栗東町 竹村 忠夫

「この年になってまさか私が」スポーツに興味のなかった私が大会に選ばれるなんて信じられませんでした。



竹村選手の立幅跳の瞬間

味しかったです。

ご指導下さった方々、応援して下さい下さった方々、本当にありがとうございました。この感動を是非皆さんにも味わって頂きたいと思っております。

さて、誰かのお世話にならなくては練習出来ません。大会出場の先輩のお蔭で、中学の陸上部の先生・女生徒のご指導により、夏休みに練習に励みました。

しかし、目が不自由な為、石に当たり、1カ月の怪我を負い強化練習会には出席したものの練習出来ない事もありました。しかし、コーチや先輩方の熱心な指導の下、自分の記録が1秒でも縮まる様にと頑張りました。いよいよ、大会に出発する日がまいりました。町長様、県知事様他の激励のお言葉を頂き、「頑張って、メダルを一つでも取ろう。」と思いました。

新幹線で広島に到着すると、広島市、広島県の関係者の歓迎があり大変感激しました。目が見えない私は、身体に喜びと励みを人一倍感じ胸が一杯になりました。また、美人のコンパニオンさんが最後までついて下さいました。

生まれて初めての入場行進の経験は、全国大会の素晴らしい

大会を終えて

八日市市 中村 節子

私がこの大会に参加しようと思ったきっかけは、昨年出場した方に薦められたからです。以前よりスポーツをしていました

で感動させられました。

さて、いよいよ私が出場する60m競走です。誰かの「竹村さん、頑張て!」という声援が耳に入りました。スタート前に大きく深呼吸をして身体を落ち着かせました。「用意、ドン」とにかく真つすぐに走るのが肝心。一生懸命、自分の記録には及びませんでした。金メダルでした。私は生まれて初めての体験に喜びと嬉しさに満ちあふれ、最高の気分でした。

次の日は立幅跳です。とにかく前へ、前へ、と跳ぶ事を心がけ、何とか銀メダルを取る事が出来ました。

この大会を経験するまでは、「自分は視覚障害者だ。」と落ち込んでいた私ですが、「何事でも、また、何事になってもやる気があれば出来る。」という事を身をもって感じさせられました。

最後になりましたが、選手・役員をはじめコンパニオン、大会関係者の皆様、今まで経験した事のない、感動と喜びを体験させて頂いた事を感謝し、お礼申し上げます。

ので、何の戸惑いもなく出場してみたいと思いました。今思えば何の緊張感もなく選考記録会を終え、結果も良く、それに加えて自分の障害区分で一人という幸運にも恵まれ、この大会の出場選手に選ばれたのです。

当初はまだ県の代表という自覚もありませんでしたが、夏の暑い日差しの中で色々な障害を持った仲間を遠目に見ていると「皆、頑張っているんだ。」と大変励まされた気持ちになり、いつしか自分の記録が少しでも良くなっていく事を嬉しく感じる様になりました。

色々な想いを心に秘め、出発当日、広島駅では大きな歓迎で出迎えて頂き、本当に嬉しく思いました。

大会当日、朝早くからの入場行進では、会場に一歩足を踏み入れると、そこは多くの人々の歓声で一杯でした。心臓が高ぶり、今まで味わった事のない気持ちで胸が一杯になりました。



応援団も頑張った? 中村選手

私の出場種目のソフトボール投では自己新記録、もう一つの水泳では自己新記録に重ね、大会新記録でもありました。一生に一度しか出場できないこの大きな大会で、全員がメダルを獲得し、皆で喜び合えた事を大変に嬉しく思いました。団長やコーチが練習の時にあれ程口うるさく言われた事が終わった今になり、良く解った様な気がしました。

この大会を通じて、本当に多くの出会いがあり、多くの事を学び、大きな感動を受けた2日でした。この大会への出場が決まったからの5カ月間の体験は私にとって忘れられない大きな思い出となることと思います。そして、これからもこの感動を一人でも多くの人に味わって頂きたいと思えます。

最後に、この大会に関わった全ての人に対して、感謝の気持ちで一杯です。

感動の2日間をありがとうございました。



障害急歩競技に挑む辰野選手

「広島に来たのだ」

多賀町 辰野 礼二

6月中旬に滋賀県代表選手13名の中に私も選ばれ、一生に一度しか出場出来ない大会への参加の切符を手にして嬉しく思いました。

10月26日、入場行進中スタンドからの歓声の中に、滋賀県から応援に駆け付けて下さった方々の顔がはつきり見えました。そしてその時、「広島に来たのだ。」と思いました。

私の出場種目は立幅跳と障害急歩です。初日の立幅跳は記録が伸びず3位でした。そこで、2日目の障害急歩では精一杯頑張る2位になり、銀メダルは重いと思えました。

私達は広島に着いてから、広島の皆様が心あたたく迎えて頂き、大会中は多くの方々のお世話になりました。

立幅跳で皇太子殿下ご夫妻が近くで見学された事、後夜祭で



銀メダルに思わずニコリ(浅井選手)

感謝のし通し

大津市 浅井 初美

思ってもいなかった大会に出場できたことは、一生心に残る思い出となりました。

近年は体の不調が続き、これではいけないと思いつきダンベル体操を初めかけた時に、「スポーツ大会の選考会に出してみないか」と言われました。

とにかく、彦根での選考会に参加しましたが、競技前に怪我をしたりで、今回は駄目だと思っていたところ、県の福祉課より大会出場が決まったとの知らせがあり、本当に嬉しかった反面、戸惑いもありました。しかし、とにかく頑張ってみようと思いました。

合宿が始まって、思うように投げられずに悩みましたが、団長、監督、コーチの皆様にご指導、激励頂き、練習を頑張る事が出来ました。また、友人にも練習を手伝って頂きました。

「結果は余り考えず、力一杯悔いの残らないように。」と言われて広島に参りました。

入場行進の感激、競技の後サブグラウンドでの団長、監督、コーチの皆様等の祝福の言葉は一生忘れる事が出来ません。また、閉会式、後夜祭と感激のし通しでした。

「おりづる大会ひろしま」に出場できて本当に良い思い出が心に残りました。いつまでも忘れません。団長、監督、コーチをはじめ役員、指導員の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。これからも指導の程宜しくお願い申し上げます。そして広島の大関係者、コンパニオン、ボランティアの皆様にもお世話になり、心よりお礼申し上げます。

今後大会の良き思い出を忘れず、病気に負けないよう生きていくつもりです。



金メダルを胸に抱いて…(堀井選手)

感動のおりづる大会ひろしま

栗東町 堀井 久子

6月9日、第32回全国身スポ大会選手選考記録会に参加致しまして、後日大会出場決定の通知を頂きましたが、まさか私が出場出来るとは思っておりませんでした。

不安と心配で落ち着かず、非常に重荷に感じたのですが、「一生に一度しか出場する事が出来ない大会」と聞かされて、心が決まりました。

私の出場種目はハンドボール投と砲丸投です。先ずトレーニングに備え、朝早く起き、足を鍛える為に走りました。そしていよいよ本格的に強化練習に入りました。コーチ、指導員の方々が丁寧に細かく指導して下さいました。夏の太陽の照りつける下で真っ黒になり練習に励みました。負けたくない、「一心」とはその成果を大会でどれだけ出せるか、そしてそのパワーを

出す事により感動と勝利が決まるのです。私は毎日毎日練習を行い、出発当日の朝は落ち着いて迎える事が出来ました。

県庁に集合して結団式を終え、心が引き締まる思いで広島へ出発です。広島駅では大勢の歓迎の方達から折り鶴を胸に頂きました。感動で頬についたたるものをぐっと堪え、この胸の折り鶴を金メダルに変えて帰ることを心に誓いました。

26日、開催当日の朝は5時起床です。宿舎よりバスに乗り、競技場まで少し時間があり、広島街や山々を眺めながら、広島域公園陸上競技場へ向かいました。

全国都道府県から集まってくる祭典は夢の様に素晴らしい、「げんき かがやけ」の今年のスローガンの通りの演技が披露されました。

式典が終わるとすぐ競技です。自分の出番を待つ時の気持ちは胸が高鳴り、「感動と気迫で成し遂げなければならない。」「金メダルが欲しい」という気持ちがある一方、「良い成績がでるだろうか。」と不安で一杯でした。

お蔭さまで私は2種目とも金メダルを獲得する事が出来ました。あの表彰台上がり、金メダルを胸に頂いた時の感動は一生忘れる事はないでしょう。

最後にお世話頂いた役員、指導員の方々に厚くお礼申し上げます。

何度でも感動できる大会

近江町 田邊理恵子

全国身体障害者スポーツ大会は何度でも感動できる大会だと思えます。私は2回も全国身体障害者スポーツ大会を経験しました。1回目は滋賀県で開催された第17回大会の時、ろう話学校中学部1年生として鼓隊に参加しました。そして2回目が個人選手としての出場です。

得意の卓球に最初自信を持っていましたが、結果は逆さになり100m競走の方が良い結果になりました。私は走る事が好きでありませんが、これを機会に走る楽しさが分かってきたように思います。練習の厳しさも私には良い薬だったと思えました。大切なのは精神力と気力を持つ事だと思います。

大会では先ず歓迎のレイに書かれた「人間は皆同じ仲間」という言葉に感動し、励まされました。また、炬火リレーでは燃



競技終了後、他府県選手と健闘をたたえあう田邊選手(右)

感謝も 悔いも...

八日市市 松宮ひとみ

第32回全国身体障害者スポーツ大会において、私は滋賀県選手団の旗手として、重大な責任を果たしました。

え上がった炎が次々と受け継がれ段々と高くなり、そして空高く点火された時、希望に満ち舞い上がる思いでした。それを見た瞬間は自分の障害を忘れ、健常者の国体に来た気分でした。そして、聴覚障害者の4名の選手全員がメダルを獲得し、ひと安心し肩の荷が軽くなったような気持ちになりました。

コーチの方や指導員の方々、そして選手の皆さんから自分の力で確かめるという勇気を色々な事から教えてもらったように思います。ありがとうございます。これからも前向きに挑戦していきたいと思えます。

今思えばあの厳しい練習、暑さの中で自分の力がどこまで続くか心配でした。特に水泳は内心とても苦手で伸び悩み、いつも同じ事の繰り返しで体力だけを消耗していました。

一生胸の中に... 卓球市 柴田藤喜雄

私は、全国大会に選手として出場し、走幅跳で5位、卓球で1位という成績を修める事ができました。特に卓球競技では、優勝を狙っていましたので喜びを感じています。

開会式が終わると陸上競技が始まりました。私は走幅跳では入賞出来ませんでした。自己最高記録でしたので、「まあ、こんなところか。」とさっぱりしていました。

大会2日目の朝「卓球では必ず優勝する。」と豪語していた私は、金メダルを取らずには帰れないと思い、試合に臨みました。コンパニオンさんも応援して下さいました。そして優勝が決まった時、上を見上げガッツポーズをしていました。また卓球を通じて5人の選手達と仲良くなり、いつか別の大会で再会する

松宮選手の力投(ハンドボール投)



で、周りの方の年齢で気を抜いていた事を今は反省しております。

大会後は後夜祭、地元交流とともに楽しく、良い大会の思い出が残りました。また、コンパニオンや広島のボランティアの人達には大変感謝しております。そして5ヵ月間指導して下さい

つた、コーチの方々にも感謝しております。

二度とない、この大会への出場を契機に、今後自分の健康の為にスポーツを続けて行きたいと思えます。

本当にありがとうございます

ともあれ、この思い出は一生私の胸の中にあります。最後にこの大会の為に色々と尽くして下さいました。見知らぬ皆さんにも「ありがとうございます」とお礼を言いたいと思えます。



尾道での一コマ(左 倉谷監督 右 柴田選手)

競技直前/緊張した面持ちの大岡選手



自分らしく輝ける人生に!

大津市 大岡 剛

第32回全国身体障害者スポーツ大会「おりづる大会ひろしま」に参加させて頂いて、感激で胸が一杯になりました。

広島と言えば、先の戦争で一番苦しんだ場所の一つです。だからこそ、この地で開催される大会に出場出来た事で、自分の一生の思い出を作る事が出来、本当に嬉しく思いました。

ましてハンドボール投では金メダルを頂く事が出来ました。これからの人生の中で、苦しい事、また悩む事もあると思いますが、「全国身スポ大会に出場できた事を思い出し、全ての事を乗り越えていこう。」と決意しました。

或る識者の言葉に、「太陽が昇れば、それを隠そうとする雲が集まる。しかし、どれほど雲が集まろうとも、太陽は太陽である。太陽の光を消す事は絶対に出来ない。」という言葉がありま

す。この大会の経験を踏まえ、常に自分らしく輝ける人生にしていきたいと思えます。

初戦で宿敵愛媛県に惜敗!
◁ グランドソフトボール競技 ▷



来年につなげ/対愛媛県チームとの熱戦の一コマ

昨年引き続き出場となった、グランドソフトボール競技にお

いて、これまでの全国大会で最多優勝回数4回を誇る滋賀県チームは、初戦にて同じく優勝回数4回の愛媛県チームと対戦し双方が5回目の優勝へのチャレンジとなりました。

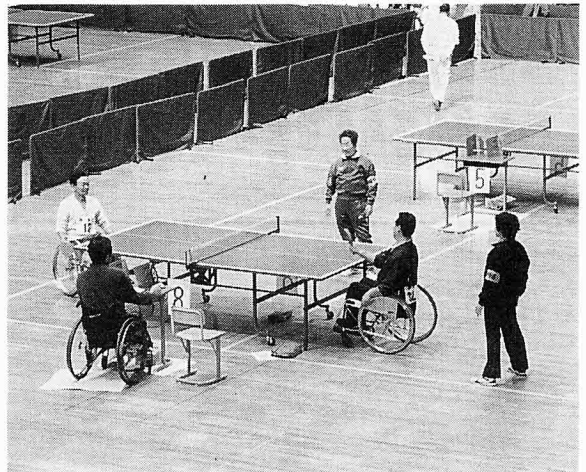
初回、滋賀県は2点を先制し幸先良いスタートを切りました。その裏、愛媛県は逆転の3点本塁打により主導権を握り、一挙5点を上げました。2回にも愛媛県は1点を上げ、3回表に滋賀県も本塁打で1点を返したものの追い付かず、6対3で愛媛県に破れ、初戦で涙を飲み、9年振り5回目の優勝の悲願は達成されませんでした。

なお、愛媛県は準決勝戦、決勝戦と勝ち進み、2年連続5回目の優勝を果たし、単独で最多優勝県となりました。

第32回全国身体障害者スポーツ大会滋賀県選手成績表

氏名(障害区分)	種目	記録	順位	氏名(障害区分)	種目	記録	順位
澤村 博史 (片手部切断)	走幅跳	3m01	5	浅井 初美 (両下肢不完全)	ハンドボール投	13m84	2
	100m競走	17秒73	3		ソフトボール投	11m46	2
西川 忠男 (片上肢不完全)	100m競走	(自) 15秒94	3	中村 節子 (肢体(2)-4)	25m平泳ぎ	(欠) 30秒77	1
	走幅跳	2m88	2		ソフトボール投	(自) 14m42	3
鈴木 昭夫 (片下肢不完全)	ソフトボール投	(自) 33m14	3	堀井 久子 (その他の視覚障害)	ハンドボール投	16m08	1
	卓球	——	2		砲丸投	5m22	1
大岡 剛 (上肢に不随意運動を伴う 走可能)	卓球	——	3	瀧井 聡子 (聴覚・平癒・ 音声・言語機能障害)	砲丸投	7m45	2
	ハンドボール投	24m70	1		ハンドボール投	(自) 25m80	1
辰野 礼二 (右または左の打たる片脚障害 走不能)	立幅跳	1m33	3	田邊 理恵子 (聴覚・平癒・ 音声・言語機能障害)	卓球	——	3
	障害急歩	(自) 28秒90	2		100m競走	15秒82	2
竹村 忠夫 (視力0)	60m競走	10秒70	1	松宮 ひとみ (聴覚・平癒・ 音声・言語機能障害)	50m平泳ぎ	(自) 50秒71	2
	立幅跳	1m97	2		ハンドボール投	27m92	1
柴田 藤喜雄 (聴覚・平癒・ 音声・言語機能障害)	走幅跳	(自) 4m57	5	注) 記録中の(自)は自己新記録、(欠)は大会新記録を表わす。また競技名の上段は10月26日に行なわれた競技、下段は10月27日に行なわれた競技を表わす。			
	卓球	——	1				

第34回県大会(卓球)



車イス使用者部門の競技の一コマ

甲賀地区 4連覇!!

去る10月13日(日)、草津市総合体育館において、第34回県大会(卓球競技)が開催されました。大会前日から降っていた雨も当日の朝までには上がり、悪天候に悩まされ続けた昨年度とはうって変わって、今年の県大会は全ての競技において天候に恵まれる結果となりました。

競技は昨年と同様、湖西地区を除く12地区で争われましたが、湖西地区の不参加は、平成5年の第31回県大会から4大会連続となり、今年こそは13地区揃っての大会を期待していただけに残念な結果となりました。また、例年に比べ棄権者数が僅かながら減少したとはいえ、今年も依然多数の棄権者

があり、試合が成立出来ない組がある等、大会の根幹に関わる問題点がそのまま残された形となりました。湖西地区の参加者の増加を図るといふ事は勿論ですが、安易な棄権を防ぐ効果的な策の必要も感じられます。

競技は今年から正式参加となった、療育の部を含む178人の参加者で争われ、ほのぼのとした友好ムードの試合から、一球ごとにサーブ権が入れ替わる、まさに手に汗握る「白熱戦」まで色々なレベルの試合が繰り広げられ参加選手と応援者を大いに沸かせました。

11月4日(日)、県立長浜ドームにおいて、第11回滋賀県障害者グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。昨年より約1月半遅れの11月開催となった為、アリーナは若干寒いのはと心配されましたが、台風の後波の暴風雨が吹き荒れた昨年とはうって変わり、当日は穏やかな小春日和に恵まれ、屋外で昼食を取る光景も見受けられる等、晩秋の北近江ののどかな一日を満喫することが出来、屋根があることを恨めしく思う程の天候となりました。競技においても、うららかな

じという結果になりました。この事は、ここ数年連続した甲賀・草津時代から甲賀・湖南を大津が追う、3強時代へ突入した事を感じさせます。草津の復権なるか、大津の優勝はあるのか、来年の大会が期待されます。

- なお、各地区の成績は次の通りです。
- | | | |
|------|--------|-----|
| 優勝 | 甲賀地区 | 65点 |
| 準優勝 | 湖南地区 | 53点 |
| 第3位 | 大津地区 | 37点 |
| 第4位 | 草津地区 | 25点 |
| 第5位 | 彦根地区 | 15点 |
| 第7位 | 長浜地区 | 15点 |
| 第8位 | 湖北地区 | 10点 |
| 第10位 | 守山地区 | 7点 |
| 第11位 | 湖東地区 | 7点 |
| 第12位 | 近江八幡地区 | 4点 |
| | 愛知犬上地区 | 3点 |

天候に影響された為か、例年よりも和やかなムードで終始争われ、結果、2年連続準優勝となった長浜市Aチームを除き、上位常連チームのスコアが伸び悩み、堅調にスコアを伸ばした彦根市Aチームが12打のスコアで見事初優勝を飾りました。また、彦根市はBチームも5位に入り、クラブ等での日頃の練習の成果が実を結んでいる事を実証しました。一方、昨年11打の驚異的スコアで優勝を飾った大津市Aチームは大きくスコアを崩し25位となり、大会全体から見てもスコアもやや頭打の感があります。

また今年も、オープン参加の療育チームが3チーム参加、こちらの方は確実に昨年のスコアを上回る成績を挙げ、多いにプレーを楽しんでおられました。当協会では、来年度も10月に

第11回グラウンドゴルフ大会



ティーショットで目指すは勿論ホールインワン

- 第11回滋賀県障害者グラウンド・ゴルフ大会結果
- | | | | | | |
|--------|------|------|--------|--------|------|
| (優勝) | 彦根市A | 127打 | (第14位) | 近江町 | 145打 |
| (準優勝) | 長浜市A | 130打 | (第15位) | 秦荘町 | 145打 |
| (第3位) | 甲南町 | 133打 | (第16位) | 湖北町 | 146打 |
| (第4位) | 信楽町 | 134打 | (第17位) | 新旭町 | 146打 |
| (第5位) | 彦根市B | 135打 | (第18位) | 今津町 | 147打 |
| (第6位) | 長浜市B | 138打 | (第19位) | 甲賀町 | 147打 |
| (第7位) | 草津市B | 140打 | (第20位) | 土山町 | 148打 |
| (第8位) | 草津市A | 140打 | (第21位) | 愛東町 | 148打 |
| (第9位) | 蒲生町 | 141打 | (第22位) | 甲西町 | 149打 |
| (第10位) | 大津市B | 141打 | (第23位) | 八日市市B | 149打 |
| (第11位) | 日野町 | 141打 | (第24位) | 愛知川町 | 150打 |
| (第12位) | 守山市B | 142打 | (第25位) | 大津市A | 150打 |
| (第13位) | 安土町 | 142打 | (第26位) | 高島町 | 151打 |
| | | | (第27位) | 近江八幡市B | 151打 |
| | | | (第28位) | 能登川町 | 151打 |
| | | | (第29位) | 朽木村 | 151打 |
| | | | (第30位) | 近江八幡市A | 152打 |
| | | | (第31位) | 栗東町 | 152打 |
| | | | (第32位) | 水口町 | 154打 |
| | | | (第33位) | マキノ町 | 154打 |
| | | | (第34位) | 多賀町 | 155打 |
| | | | (第35位) | 八日市市A | 155打 |
| | | | (第36位) | 虎姫町 | 156打 |
| | | | (第37位) | 安曇川町 | 156打 |
| | | | (第38位) | 志賀町 | 157打 |
| | | | (第39位) | 豊郷町 | 157打 |
| | | | (第40位) | 守山市A | 157打 |
| | | | (第41位) | 永源寺町 | 159打 |
| | | | (第42位) | 米原町 | 164打 |
| | | | (第43位) | びわ町 | 167打 |
| | | | (第44位) | 野洲町 | 168打 |
| | | | (第45位) | 高月町 | 169打 |
| | | | (第46位) | 五個荘町 | 176打 |
| | | | (第47位) | 浅井町 | 177打 |

- オープン参加●
- | | |
|--------------|------|
| 湖東町(身障) | 153打 |
| 杉の子福祉作業所(療育) | 163打 |
| 永源寺町C(療育) | 199打 |
| 永源寺町B(療育) | 220打 |
- 次ページに続く

★ ホールインワン賞

- 1 境 洋子 (大津市B)
- 2 沢田 清重 (彦根市A)
- 3 桐澤 晃正 (彦根市A)
- 4 久保田久弥 (彦根市B)
- 5 北村 広造 (彦根市B)
- 6 本田正太郎 (長浜市A)
- 7 河瀬和三四郎 (長浜市A)
- 8 前川 昭 (長浜市A)
- 9 西川 和雄 (長浜市B)
- 10 松田正三郎 (近江八幡市A)
- 11 宮川真実子 (近江八幡市B)
- 12 村井 光子 (八日市市B)
- 13 堀田光治郎 (草津市B)
- 14 緒方 豊 (守山市B)
- 15 仙石ひろみ (志賀町)
- 16 谷 伊佐雄 (志賀町)
- 17 今堀 太一 (野洲町)
- 18 佐野 敏彦 (甲西町)
- 19 清水 さだ② (玉山町)
- 20 中島 弘 (甲賀町)
- 21 土田賢二郎② (甲南町)
- 22 谷口 桂三 (甲南町)
- 23 西田 久吉 (蒲生町)
- 24 伊藤 郁子 (蒲生町)
- 25 深田伊三郎 (蒲生町)
- 26 中西 時雄 (愛東町)
- 27 澤村 康夫 (湖東町)
- 28 深尾 銚三 (豊郷町)
- 29 古野 和枝 (近江町)
- 30 久保田惣市 (浅井町)
- 31 清水 治 (浅井町)
- 32 肥田 吟衛 (虎姫町)
- 33 鈴木キクエ (今津町)
- 34 伊藤 義雄 (安曇川町)
- 35 岡村平左門② (高島町)
- 36 赤田 正由 (永源寺町C)

註) ②印はホールインワンを2回出した者。

＜クラブ紹介＞

滋賀県身体障害者スキークラブ WINGS

代表 八戸 悟

91年10月に数名の有志で結成した当クラブも現在では部員30名、顧問1名となり、冬のゲレンデをメインに活動し、オフシーズンは、県立障害者福祉センターを利用してトレーニングやミーティングを行なっています。このクラブは障害者の為のスキークラブという発想ではなく「障害の有無に関係なく、皆でスキーが楽しめるよう、各自が出来た事を行い、クラブ員として行動する。」という発想なのです。従って、企画は言うまでもなく、障害者が健常者にスキーの助言をすることさえあります。



このような趣旨を理解してくれる仲間たちと、1シーズンに3回のスキーツアーと1回のスキー教室を企画しておりますが、今シーズンは各ツアーの参加者が多くて頭を痛める程でした。ツアーでは初心者を中心にメンバーの組合せを決め、必要に応じサポーターについてもいます。勿論、障害の有無は関係ありません。場合によってはスクール形式を取る場合もあります。とは言え、まだまだ試行錯誤の状態で、毎シーズン課題が増えています。

オフシーズンは障害者福祉センターに月1回は集まり、冬期シーズンの為のミーティングを行ったり、機関紙の発行、トレーニング等を行なっています。これからも、より多くの人達にスキーの楽しさを知ってもらえるよう、そして一人でも多くの仲間たちと出会える事を願っています。こんなスキークラブに興味のある方は、是非一度参加してみてください。

(写真は戸隠へのスキーツアーでの1コマ。)

おしらせ

◎第1回ビームライフル教室の開催について
平成9年2月9日(日)、県立障害者福祉センターにおいて、第1回ビームライフル教室を開催致します。

近年障害者のスポーツとしてにわかに脚光を浴びているビームライフル競技ですが、当協会でも滋賀県ライフル射撃協会の

☆各種大会結果☆

- ▼第6回日本身体障害者バトミントン選手権大会in大阪
平成8年11月2日(土)～3日(日) 於 舞州アリーナ
 - 〈男子ダブルスCブロック〉
 - 2位 鈴木一茂・他府県選手組
 - 〈女子ダブルスBブロック〉
 - 2位 伊藤美田紀・安田明美組
 - 〈女子ダブルスDブロック〉
 - 優勝 中村節子・他府県選手組
 - 〈男子シングルスAブロック〉
 - 3回戦敗退(ベスト16) 井上博基
 - 〈男子シングルスCブロック〉
 - 3回戦敗退(ベスト8) 鈴木一茂
 - 3回戦敗退(ベスト16) 山田恵三
- ▼第1回肢体不自由者卓球大会
in大阪
平成8年11月16日(土)～17日(日)
於 大阪府立門真スポーツセンター
- 〈クラス8〉
- 2位 倉谷義数
- 〈クラス3・4〉
- 3位 山川真由美

編集後記

ご協力を得て、これの普及に取り組んでおり、昨年の指導員講習会での実施に引き続き、正式に教室として開催することになりました。

なお、参加希望者は参加申込期限の平成9年1月21日までに各市町村にお申し込み下さい。

◎第9回スキー教室の開催について
平成9年2月18日(火)、びわ湖バレイスキー場において、第9回スキー教室を開催します。

なお、参加申込期限は平成9年1月21日までとなっておりますので、期日までに各市町村にお申し込み下さい。

◎今朝の新聞の見出しに、「師走は雪で始まった。」とありました。12月に入った途端に初雪が舞い、近畿では例年より1ヵ月も早い初雪の到来とか。

◎11月24日、「知的障害者を持つ人たちの特質と接し方」をテーマにした講義とボウリング実技の指導員講習会を開催しました。皆会場に入りきれぬかなと心配する程の参加者があり、午前中は2時間の講義、午後はボールの一投一投に一喜一憂し充実した講習会でした。

事務局だより

◎古切手等回収協力者 (敬称略)

- 彦根市 北村さよ子
- 野洲町 野瀬 高明
- 八日市市 大橋 博
- 近江八幡市 中江 幸子
- 野洲町 田邊 智
- 水口町 林 保次
- 多賀町 藤井 弘
- 高月町 山田 次子
- 京都信用金庫滋賀支店 東野 秀和
- 甲南町立中部小学校
- 滋賀県高等学校体育連盟
- 八日市県事務所税務課

※以上集まった古切手等は県のボランティアセンターに送らせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

◎全国身体障害者スポーツ大会に出場した個人競技の選手の皆様が、大会からの帰りの新幹線の中で、広島大会に因んで「おりづる会」と名付けた親睦会を作り、あの感激と感動を次の人に伝え、障害者スポーツ振興への協力を誓っていました。

これからの活躍が期待されます。○先日、ゆうあいピック北海道大会に出場した2、3名の人がちと会いました。大会出場前に比べて人が変わったように、明るく、たくましく実習をしているのに感激しました。

○二つの全国大会を目のあたりにして、障害者スポーツに参加する事の意義の大きさを今更の様に感じている次第です。

○今年も残り少なくなりました。ご支援、ご協力を下さった皆様にご心から感謝を申し上げ、ご健康をお祈りします。